

## 大四日市まつりなどのあり方を考える市民会議⑥-2(花火大会)議事録

日 時 : 平成16年10月16日(土)15時20分～16時00分

場 所 : 総合会館 7階 第2研修室

出席者 : 委員 別紙出席表のとおり

事務局 商工課 平林課長、永田副参事、駒田勤労観光係長、中本主幹、待井技師

### 1. 市民から寄せられたパブリックコメント

#### 事務局から紹介

### 2. 提言(素案)

#### 事務局から説明

#### <素案に対する各委員意見>

- 素案に対して特に意見はないが、素案の冒頭に「中止に至った経緯」とあるのは寂しい気がする。「1. はじめに」とし、その中に主文として当会議として平成17年度から花火大会の再開を強く希望するという内容を冒頭に記載していただきたい。
- 資料として交通アクセス等について地図を添付すればわかりやすい。
- 世界花火大会というものが行われており、毎年日本が優勝している。その優勝作品を打ち上げるといった良いのではないか。
- パークアンドライドとはどういう意味か。
  - 基本的には鉄道等の交通機関を利用していただくもので、例えば四日市駅周辺に車を駐車し、そこから会場までは鉄道等を利用して来場するというものである。
- いままでいただいた市民の意見も資料集に加えて欲しい。
  - 添付する予定である。
- 以前の開催日は8月最終の日曜日か。
  - 当初はお盆の時期に開催していた。最終年は8月第3日曜日に開催した。
- 市民意見として珍しい時期に開催してはという意見もあった。
  - 花火師の手配時期も考慮する必要がある。
- 市補助金の他、協賛金がどれだけ集まるかがポイントとなる。早い時期に協賛金の見込み額を確定して発注をしていかないと間に合わない。本会議で資金調達についての意見(有料観覧席等)を踏まえて見込みを立てる必要がある。
- ペットボトルを利用した演出方法を以前提案したが、ペットボトルのリサイクルも始まったことであり、是非提言に取り入れていただきたい。
- 駐車場を有料とし、その収益をゴミ処理費へ利用するなどできないか。
  - 垂坂緑地や富田山城線両脇への駐車が多く、地域からの苦情も多い中、駐車場の有料化となると地元の理解を得るのは難しいだろう。
- 海上から船により花火を見ることはできるのか。
  - 小型船についてはかなりの数が花火観覧にきている。花火の保安距離となる航泊禁止区域には進入できない旨を漁協等に案内している。名古屋の名鉄海上観光船が一時、営業として行っていた。いなば2での観覧は市民協賛者に抽選によりチケットを配布していた。
- 素案をもう少し具体的に書いたほうが良いのではと感じる。臨時バスの課題解決方法についても、もう少し具体的に示すべき。
- 露店は香具師のみか。
  - 基本的には香具師のみであり、正確に出店数は把握していないが100店以上出店している。若干であるが港湾内の食堂が食べ物を出しているところもある。また香具師の出すゴミについては、花火大会翌日に香具師及び自ら手配したゴミ収集車により清掃を行っている。
- 原則としては港湾区域内における商行為は禁止されているので、さらに露店の出店規模を拡大することは

難しい。

- 大四日市まつりへの意見としてタバコのマナー問題があったが、花火大会にも言えることである。運営面で考えていく必要はあるだろう。
- 小さい町でも大盛況を収めている熊野の花火は凄いという意見があった。四日市らしい特色を前面にだしてPRすることが必要であると思う。
- 四日市花火大会への来場者が増加していった場合、観客スペースの確保が難しい。以前に比べて緑地部分が増えたことにより観客収容能力は増加したが、車での来場者が多いことによる路上駐車増加、またJRの駅等から観覧席(緑地)までの人の流れ(スムーズに人が流れない)、というように来場者が増加することによるクリアーしなければならない新たな課題もある。
- 音響花火とはどのようなものか。  
→音楽に合わせて花火を打ち上げるものである。
- 四日市花火大会の打上時間はどれくらいであったか。  
→1時間15分位である。  
ちなみに世界最大といわれるPL花火大会は約10万発の花火をわずか1時間程度で打ち上げる。
- 本日いただいた意見を基に素案を訂正し、お示しさせていただく。

< 次回開催日程 >

次回開催日は11月6日(土) 11時10分～ じばさん三重5階情報交換室